

2013年度 第3四半期決算説明会

創立80周年にあたって

代表取締役社長・COO
中嶋 成博

2014年1月30日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

創立80周年にあたって

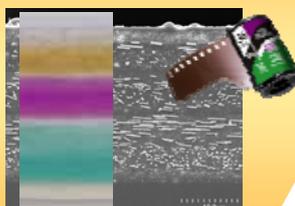
FUJIFILM

80年の振り返り

イメージング



写真技術



ドキュメント



インフォメーション



時代の変化にあわせ、写真技術を活かして事業領域を拡大

さらなる成長を目指して

成長を実現する3本の柱

1 現場力の強化

2 グローバル展開の加速

3 新規事業の創出

新規事業の創出

Open Innovation Hub

ビジネスパートナーと共に
未来を切り拓く
新しい価値“創造”拠点



高機能材料開発本部

「小さく・早く・安く・多く」をキーワードに
新規高機能材料ビジネスを創出



社外との連携を強化することで、スピーディにニーズとシーズを融合
新たな価値を提供する製品・サービスの創出へ

新しいコーポレートスローガンの策定

FUJIFILM

80th
Anniversary

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

わたしたちは、世界中のお客様の真のニーズを徹底的に追求します。

独自の技術、世界中から集まる人・知恵・技術をオープンかつスピーディに融合し、

柔軟な発想でイノベーションを起こしていきます。

2013年度 第3四半期 決算説明会

富士フイルム ホールディングス株式会社

2014年1月30日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2013年度 第3四半期(9ヵ月累計) 決算 概要

FUJIFILM

2013年度第3四半期 業績 (2013年4月～2013年12月)

(単位:億円)

	2012年度 9ヵ月累計	2013年度 9ヶ月累計	対前年度
売上高	16,112 100.0%	17,744 100.0%	1,632 +10.1%
営業利益	654 4.1%	996 5.6%	342 +52.4%
税金等調整前 四半期純利益	628 3.9%	1,142 6.4%	514 +81.7%
当社株主帰属 四半期純利益	288 1.8%	625 3.5%	337 +116.6%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	59.89円	129.68円	69.79円
為替 : 米ドル : ユーロ	80円 102円	99円 132円	19円安 30円安

* 営業利益 増減要因(対前年度) 為替: +301億円、原材料: -15億円

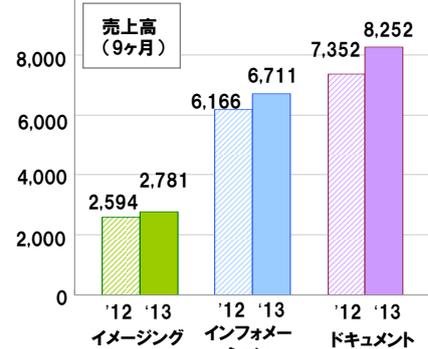
第3四半期 セグメント別:連結売上高/営業利益

(単位:億円)

売上高	9ヵ月累計		対前年度
	2012年度	2013年度	
イメージング	2,594	2,781	187 (+7.2%)
インフォメーション	6,166	6,711	545 (+8.8%)
ドキュメント	7,352	8,252	900 (+12.2%)
合計	16,112	17,744	1,632 (+10.1%)

*セグメント間取引消去後

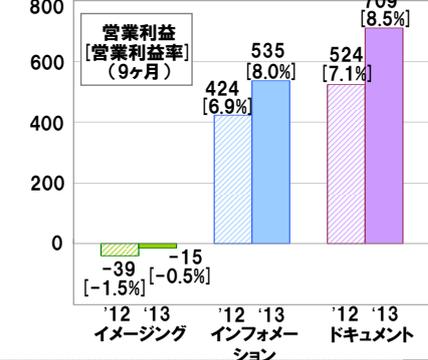
(億円)



(単位:億円)

営業利益	9ヵ月累計		対前年度
	2012年度	2013年度	
イメージング	-39	-15	24 (赤字縮小)
インフォメーション	424	535	111 (+26.2%)
ドキュメント	524	709	185 (+35.3%)
全社/連結調整	-255	-233	22
合計	654	996	342 (+52.4%)

(億円)



*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

9

第3四半期 セグメント別 概況

(単位:億円)

■ イメージングソリューション

売上高	前年比	営業利益	前年比
2,781	187 (+7.2%)	-15	24 (赤字縮小)

- ・フォトイメージングでは、インスタントカメラの販売が好調であったことや、「Year Album」などの付加価値プリントビジネスの拡大で、売上が増加。
- ・電子映像では、全世界的なコンパクトデジタルカメラの需要減少が継続し、売上が減少。Xシリーズをはじめとする高級機種の販売は好調に推移。
- ・光学デバイスでは、スマートフォン用カメラモジュールの販売が大幅に増加したことに加え、テレビカメラ用レンズやプロジェクター用レンズなどの販売も好調に推移し、売上が大幅に増加。

フォトイメージングが好調に推移したことや、
為替円安、コスト削減効果などにより
増収・損益改善

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

10

第3四半期 セグメント別 概況

(単位:億円)

■ インフォメーション ソリューション

売上高	前年比	営業利益	前年比
6,711	545 (+8.8%)	535	111 (+26.2%)

- ・メディカルシステムでは、成長領域である医用画像情報システムや内視鏡など、事業全体で販売が好調に推移し売上が増加。
医薬品は富山化学や富士フィルムファーマなどの販売が伸び売上が増加。
ヘルスケア全体では、売上が大幅に増加。
- ・フラットパネルディスプレイ材料は、IT機器の需要低迷の影響により、WVフィルムの販売が減少したものの、北米や中国でのテレビの販売が好調だったことなどにより、VA用フィルム、IPS用フィルムの販売が堅調に推移。
- ・グラフィックシステムでは、CTPプレートの販売が堅調に推移したことや、為替の円安効果により売上が大幅に増加。
- ・産業機材ではタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」などの販売が堅調に推移。
電子材料、記録メディアも売上が増加。

ヘルスケア等が好調だったことや、
為替円安の効果もあり、増収増益

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

11

第3四半期 セグメント別 概況

(単位:億円)

■ ドキュメント ソリューション

売上高	前年比	営業利益	前年比
8,252	900 (+12.2%)	709	185 (+35.3%)

- ・国内、アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出のいずれも売上が増加。
- ・オフィスプロダクトは、全ての地域においてカラー機の販売台数が増加し、アジア・オセアニア地域ではモノクロ機も増加。
- ・オフィスプリンターは、アジア・オセアニア地域でカラー機の販売が好調に推移し、販売台数が増加。
- ・プロダクションサービスは、国内、アジア・オセアニア地域および米国ゼロックス社向け輸出のいずれもカラー・オンデマンド・バブリッシング・システムの販売が好調で、全体で販売台数が増加。
- ・グローバルサービスは、国内及びアジア・オセアニア地域において売上が増加。
- ・売上の増加とともに、製造原価改善及び経費効率化も寄与し増益。

全ての地域において販売が堅調に推移し
増収増益

12

連結貸借対照表

(単位:億円)

	12年度末	13年9月末	13年12月末	対12年度末		12年度末	13年9月末	13年12月末	対12年度末
現金及び現金同等物	4,454	5,149	5,557	1,103	長短社債及び借入金	3,583	3,723	3,797	214
受取債権	5,889	5,649	5,959	70	支払債務	2,510	2,345	2,457	-53
棚卸資産	3,999	4,032	4,277	278	その他流動固定負債	4,255	4,162	4,186	-69
有価証券 その他流動資産	1,271	1,493	1,550	279	負債計	10,348	10,230	10,440	92
流動資産計	15,613	16,323	17,343	1,730	株主資本計	18,689	19,346	20,276	1,587
有形固定資産	5,461	5,367	5,411	-50	非支配持分	1,559	1,627	1,697	138
営業権	4,122	4,152	4,254	132	純資産計	20,248	20,973	21,973	1,725
投資有価証券 その他資産	5,400	5,361	5,405	5	負債・純資産合計	30,596	31,203	32,413	1,817
固定資産計	14,983	14,880	15,070	87					
資産合計	30,596	31,203	32,413	1,817					

(単位:円)

期末日 為替レート	12年度末	13年9月末	13年12月末	対12年度末
米ドル	94	98	105	11円安
ユーロ	121	132	145	24円安

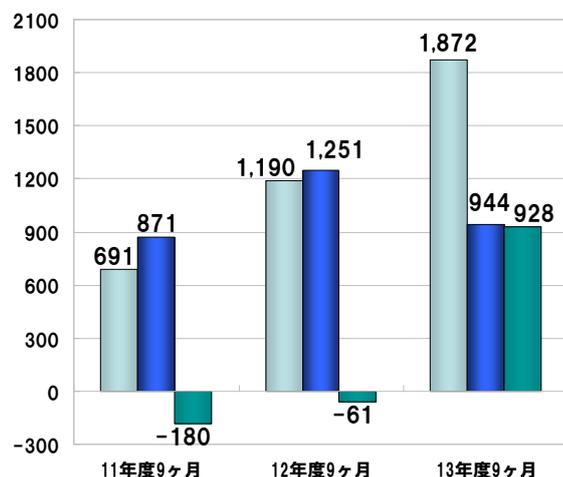
13

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー

(単位:億円)



	11年度 9ヶ月	12年度 9ヶ月	13年度 9ヶ月
四半期純利益	337	406	775
減価償却費	1,079	1,026	1,043
受取債権の増(-)減(+)	-160	385	244
棚卸資産の増(-)減(+)	-384	-178	-1
営業債務の増(+)-減(-)	-183	-308	-123
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-252	-307	-84
その他	254	166	18
営業活動によるCF	691	1,190	1,872
設備投資	-742	-669	-574
ソフトウェアの購入	-143	-132	-166
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	222	95	-24
その他	-208	-545	-180
投資活動によるCF	-871	-1,251	-944
フリー・キャッシュ・フロー	-180	-61	928
営業活動によるCF+設備投資	-51	521	1,298

14

2013年度 連結業績予想 (2014年1月30日時点)

(単位:億円)

	2012年度	2013年度 (前予想)	2013年度 (修正予想)	対前予想	対前年度
売上高	22,147 100.0%	23,500 100.0%	24,000 100.0%	500 +2.1%	1,853 +8.4%
営業利益	1,141 5.2%	1,400 6.0%	1,400 5.8%	-	259 +22.7%
税金等調整前 当期純利益	1,192 5.4%	1,400 6.0%	1,550 6.5%	150 +10.7%	358 +30.0%
当社株主帰属 当期純利益	543 2.5%	700 3.0%	800 3.3%	100 +14.3%	257 +47.4%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	112.65円	145.27円	166.01円	20.74円	53.36円
為替 :米ドル :ユーロ	83円 107円	97円 127円	100円 134円	3円安 7円安	17円安 27円安

*2013年度 営業利益 為替感応度 米ドル:11億円、ユーロ9億円

*なお、第4四半期の為替レートは、米ドル:103円、ユーロ:140円を想定しております。

80th
Anniversary

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を広げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

参考資料

3Q/9ヶ月 業績

(単位:億円)

	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
売上高	5,496 100.0%	6,001 100.0%	505 +9.2%	16,112 100.0%	17,744 100.0%	1,632 +10.1%
営業利益	231 4.2%	422 7.0%	191 +82.9%	654 4.1%	996 5.6%	342 +52.4%
税金等調整前 四半期純利益	298 5.4%	517 8.6%	219 +73.1%	628 3.9%	1,142 6.4%	514 +81.7%
当社株主帰属 四半期純利益	183 3.3%	310 5.2%	127 +68.9%	288 1.8%	625 3.5%	337 +116.6%
為替 :米ドル	81円	101円	20円安	80円	99円	19円安
:ユーロ	105円	137円	32円安	102円	132円	30円安

*営業利益 増減要因(9ヶ月 対前年度) 為替: +301億円、原材料: -15億円

3Q/9ヶ月 業績

(単位:億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
イメージング	927	1,017	90 (+9.7%)	2,594	2,781	187 (+7.2%)
インフォメーション	2,118	2,232	114 (+5.4%)	6,166	6,711	545 (+8.8%)
ドキュメント	2,451	2,752	301 (+12.3%)	7,352	8,252	900 (+12.2%)
合計	5,496	6,001	505 (+9.2%)	16,112	17,744	1,632 (+10.1%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
イメージング	-23 [-2.5%]	39 [3.8%]	62 (黒字化)	-39 [-1.5%]	-15 [-0.5%]	24 (赤字縮小)
インフォメーション	179 [8.4%]	217 [9.7%]	38 (+21.0%)	424 [6.9%]	535 [8.0%]	111 (+26.2%)
ドキュメント	162 [6.6%]	247 [8.9%]	85 (+52.7%)	524 [7.1%]	709 [8.5%]	185 (+35.3%)
全社/連結調整	-87	-81	6	-255	-233	22
合計	231 [4.2%]	422 [7.0%]	191 (+82.9%)	654 [4.1%]	996 [5.6%]	342 (+52.4%)

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリステートしています。

19

3Q(3ヶ月) セグメント別 ハイライト

■ イメージングソリューション

- インスタントカメラやポストカードの販売が好調に推移し、フォトイメージングの売上が増加。
- レンズ交換式プレミアムカメラ「FUJIFILM X-E2」の販売が好調に推移。また、高級機種種のラインアップを更に拡充。
- 光学デバイスはスマートフォン用カメラモジュールの販売が引き続き好調。

■ インフォメーションソリューション

- メディカルシステム・医薬品は堅調に推移。ライフサイエンスでは新・美白スキンケアシリーズ「アスタリフトホワイト」の販売が好調。
- フラットパネルディスプレイ材料は、一部メーカーにおける生産調整の影響で、ブレンタック・VAフィルムの売上が想定を下回るが、WVフィルムは想定を上回って着地。
- グラフィックシステムは独ハイデルベルグ社とデジタル印刷市場のインクジェットプリンティング分野において業務提携する基本合意を締結。

■ ドキュメントソリューション

- 国内、アジア・オセアニア地域、米国ゼロックス社向け輸出のいずれも増収。
- 売上高の増加による売上総利益の増加に加え、製造原価改善および経費効率化が寄与したことにより、営業利益も対前年で増益。
- 11月よりベトナム新生産拠点(富士ゼロックスハイフォン)の稼働を開始。

3Q/9ヶ月 業績

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
フォトイメージング	537	631	94 (+17.5%)	1,496	1,634	138 (+9.2%)
電子映像	262	225	-37 (-14.2%)	729	630	-99 (-13.6%)
光学デバイス	128	161	33 (+25.9%)	369	517	148 (+40.0%)
光学・電子映像	390	386	-4 (-1.1%)	1,098	1,147	49 (+4.4%)
合計	927	1,017	90 (+9.7%)	2,594	2,781	187 (+7.2%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

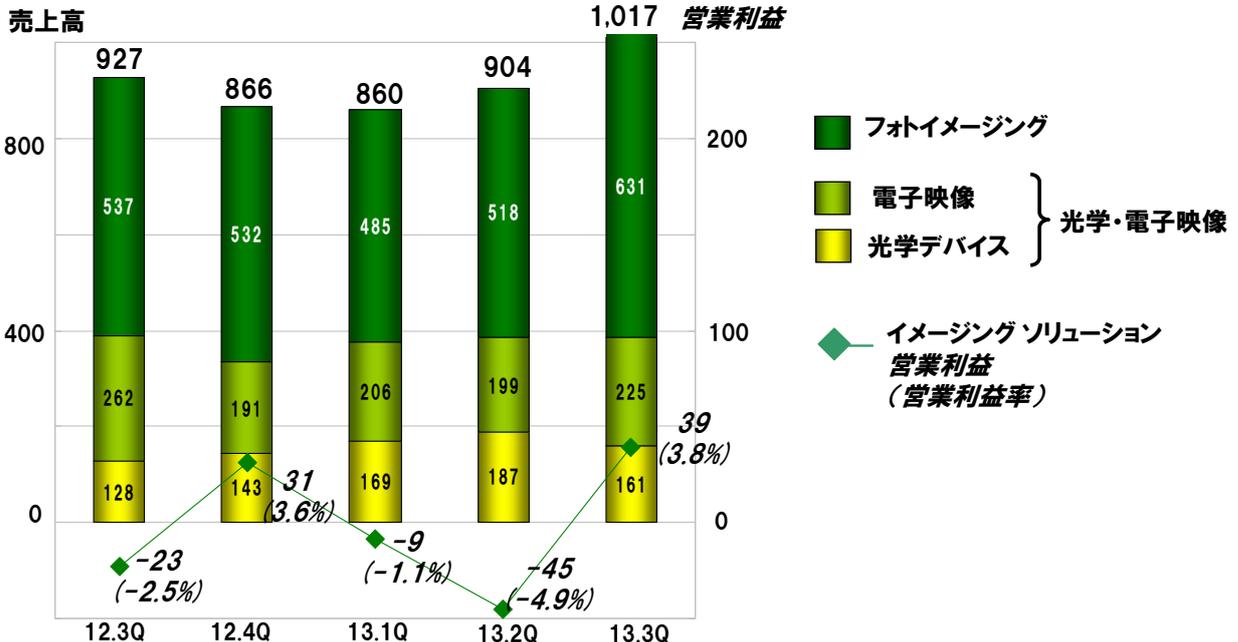
営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
イメージング	-23 [-2.5%]	39 [3.8%]	62 (黒字化)	-39 [-1.5%]	-15 [-0.5%]	24 (赤字縮小)

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション

(単位:億円)



*セグメント間取引消去後

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

3Q/9ヶ月 業績

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
ヘルスケア	793	879	86 (+10.9%)	2,296	2,598	302 (+13.2%)
グラフィックシステム	604	687	83 (+13.8%)	1,772	2,043	271 (+15.3%)
フラットパネル ディスプレイ材料	442	338	-104 (-23.6%)	1,190	1,090	-100 (-8.4%)
記録メディア	103	112	9 (+8.0%)	295	331	36 (+12.0%)
産業機材/電子材料他	176	216	40 (+23.0%)	613	649	36 (+5.9%)
合計	2,118	2,232	114 (+5.4%)	6,166	6,711	545 (+8.8%)

*セグメント間取引消去後

(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
インフォメーション	179 [8.4%]	217 [9.7%]	38 (+21.0%)	424 [6.9%]	535 [8.0%]	111 (+26.2%)

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーション ソリューションからイメージング ソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。
*産業機材とグラフィックシステムの一部事業の組織換えにより、2012年度の数字もリスタートしています。

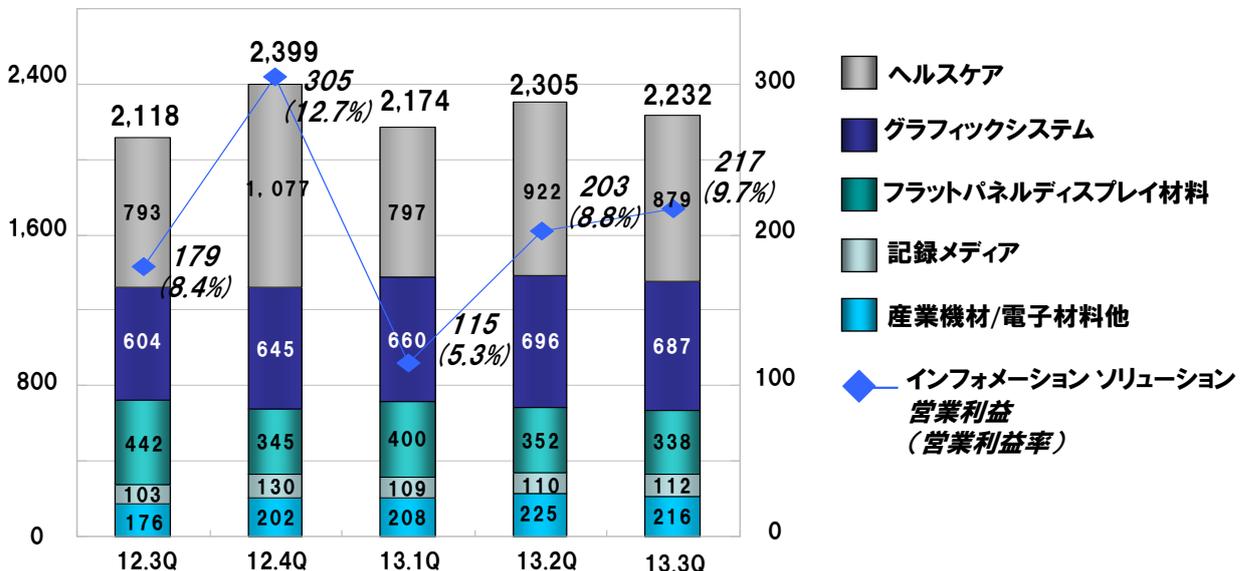
セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ インフォメーション ソリューション

(単位:億円)

売上高

営業利益



*セグメント間取引消去後

*産業機材とグラフィックシステムの一部事業の組織換えにより、2012年度の数字もリスタートしています。

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーション ソリューションからイメージング ソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

3Q/9ヶ月 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
オフィスプロダクト	1,193	1,259	66 (+5.5%)	3,654	3,836	182 (+5.0%)
オフィスプリンター	367	458	91 (+24.6%)	1,156	1,333	177 (+15.3%)
プロダクションサービス	342	376	34 (+9.9%)	1,056	1,128	72 (+6.8%)
グローバルサービス	319	360	41 (+12.8%)	827	1,095	268 (+32.4%)
その他	230	299	69 (+30.9%)	659	860	201 (+30.6%)
合計	2,451	2,752	301 (+12.3%)	7,352	8,252	900 (+12.2%)

*セグメント間取引消去後

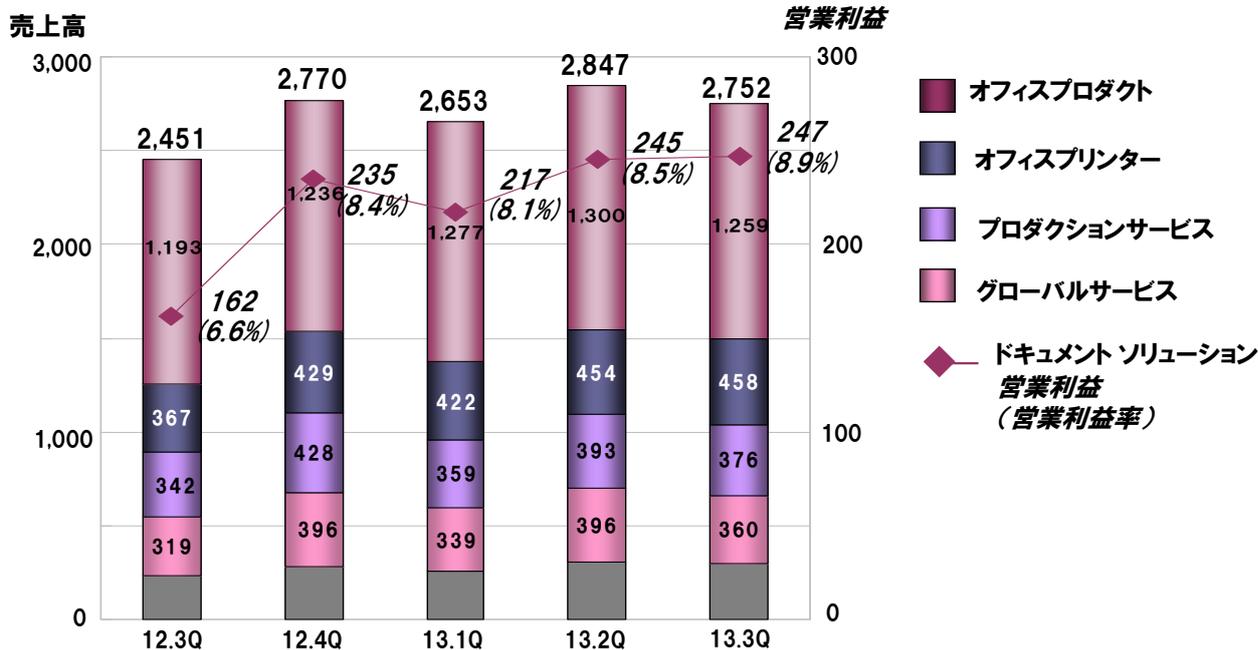
(単位:億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2012年度	2013年度	対前年度	2012年度	2013年度	対前年度
ドキュメント	162 [6.6%]	247 [8.9%]	85 (+52.7%)	524 [7.1%]	709 [8.5%]	185 (+35.3%)

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメント ソリューション

(単位:億円)



国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

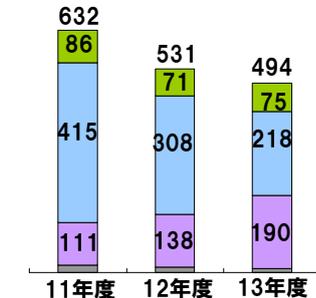
	2012年度 9ヶ月		2013年度 9ヶ月		対前年度
	構成比 (%)		構成比 (%)		
日本	45.0%	7,256	41.3%	7,322	66 (+0.9%)
米州	18.0%	2,895	18.5%	3,284	389 (+13.4%)
欧州	11.5%	1,860	12.0%	2,139	279 (+15.0%)
内、中国	9.2%	1,475	11.0%	1,951	476 (+32.3%)
アジア他	25.5%	4,101	28.2%	4,999	898 (+21.9%)
海外	55.0%	8,856	58.7%	10,422	1,566 (+17.7%)
合計	100.0%	16,112	100.0%	17,744	1,632 (+10.1%)

設備投資、減価償却費

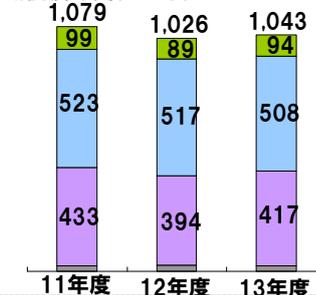
- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)

設備投資(9ヶ月)



減価償却費(9ヶ月)



年度	3Q			9ヶ月			通期		
	2011	2012	2013	2011	2012	2013	2011	2012	2013 (予想)
イメージング	31	22	20	86	71	75	128	99	-
インフォメーション	103	75	77	415	308	218	562	399	-
ドキュメント	36	55	113	111	138	190	193	248	-
コーポレート	6	5	3	20	14	11	26	21	-
設備投資 ※	176	157	213	632	531	494	909	767	800
イメージング	34	35	34	99	89	94	146	133	-
インフォメーション	179	170	176	523	517	508	725	718	-
ドキュメント	154	141	144	433	394	417	575	531	-
コーポレート	8	11	9	24	26	24	32	33	-
減価償却費	375	357	363	1,079	1,026	1,043	1,478	1,415	1,400
有形固定資産の減価償却費 ※	243	235	228	695	665	653	966	934	900

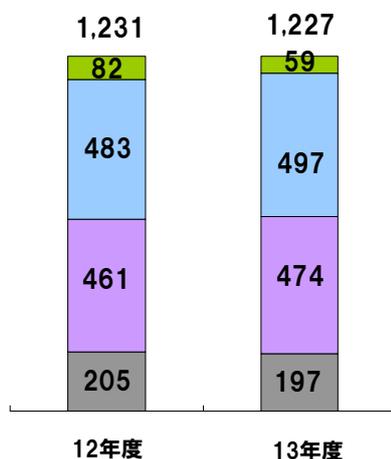
※ ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

研究開発費、販売費および一般管理費

- イメージングソリューション
- インフォメーションソリューション
- ドキュメントソリューション
- コーポレート

(単位:億円)

研究開発費(9ヶ月)



年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2012	2013	2012	2013	2012	2013 (予想)
イメージング	25	18	82	59	105	-
インフォメーション	158	150	483	497	675	-
ドキュメント	161	157	461	474	634	-
コーポレート	69	67	205	197	268	-
研究開発費	413	392	1,231	1,227	1,682	1,700
<売上高比>	7.5%	6.5%	7.6%	6.9%	7.6%	7.1%
販売費及び一般管理費	1,452	1,540	4,347	4,599	5,682	-
<売上高比>	26.4%	25.7%	27.0%	26.0%	25.6%	-

*2013年度1Qに行われた組織変更に伴い、光学デバイスをインフォメーションソリューションからイメージングソリューションへ変更しており、2012年度の数字もリスタートしています。

29

為替、原材料価格、人員

為替

(単位:円)

	2012年度						2013年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期 (予想)
米ドル	80	79	81	80	93	83	99	99	101	99	100
ユーロ	103	98	105	102	122	107	129	131	137	132	134

*2013年度 営業利益 為替感応度 米ドル:11億円、ユーロ9億円

原材料価格 (平均)

(単位:千円/kg)

	2012年度						2013年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期 (予想)
銀	79	71	83	78	91	81	78	68	68	72	72

人員

(単位:人)

	2012.12末	2013.3末	2013.6末	2013.9末	2013.12末
連結	81,542	80,322	79,965	79,837	80,113

30

パイプライン

開発番号	薬効	剤形	地域	開発段階	備考
T-705	抗ウイルス剤	経口	日本 米国	承認申請中 PⅢ実施中	
T-3811	ニューキノロン系合成抗菌剤	経口	中国	PⅢ終了、申請準備中	国内はジェニナック錠として上市済み
T-2307	抗真菌剤	注射	米国	PⅠ実施中	
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	経口	米国 日本	PⅡ実施中 PⅠ終了	
T-4288	マクロライド系抗菌剤	経口	日本	PⅠ実施中	
バイオ ITK-1	抗癌剤(前立腺癌)	注射	日本	PⅢ実施中	
FF-10501	抗癌剤(血液癌)	経口	日本 米国	PⅠ実施中 PⅠ準備中	
バイオ FF-21101	抗癌剤(難治性固形癌)(Armed抗体)	注射	米/欧/日	非臨床試験実施中	
FF-10502	抗癌剤(難治性固形癌)	注射	米/欧/日	非臨床試験実施中	

※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクスのFKB327(アダリムマブバイオシミラー)は、計画通り2013年4月に欧州でPⅠを開始。

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- － 2013年 11月 メディカルシステム事業説明会
- － 2013年 11月 医薬品事業説明会

・カンファレンス資料

- － 2013年 12月 野村インベストメントフォーラム 2013

富士フィルムってどんな会社？

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual/guidance/index.html>

富士フィルムホールディングス アニュアルレポート2013

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/annual_reports/2013/index.html

80th
Anniversary

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を広げるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>